

岩木川ダム 統管だより

074号
2023年
(令和5年)
6月30日



浅瀬石川ダム・津軽ダム

ダム警報訓練を実施



令和5年6月7日(水)と8日(木)の2日間、岩木川ダム統管理事務所が管理する“浅瀬石川ダム”と“津軽ダム”で、大規模洪水を想定した【ダム警報訓練】を実施しました。この訓練は、①スピーカによる音声放送、②サイレンによる吹鳴(すいめい)、③住民参加型避難行動訓練、の3つの内容で行いました。

浅瀬石川ダムでは、6月7日(水)9時20分から試験を開始、浅瀬石川ダムとその下流26箇所の警報所において、スピーカで「緊急放流※」の際に流す案内放送を行い、その後60秒間のサイレンを繰り返し4回鳴らして近隣住民に“確実に情報が伝わるか”や“音の届き方”などを確認しました。翌8日(木)は、津軽ダムとその下流4箇所の警報所において同様の訓練を実施しました。

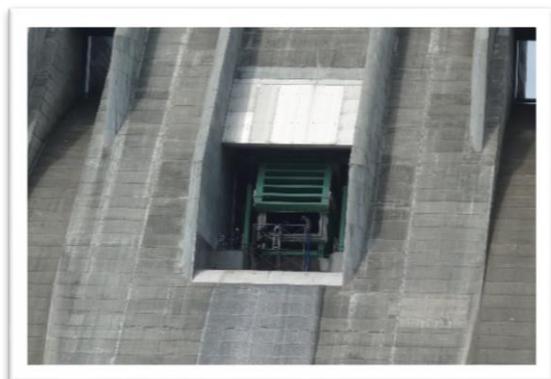
また“住民参加型避難行動訓練”は、これまで、防災情報が災害時の適切な行動に十分活用されていないといった課題を受け、住民避難の役割を担う各自治体自治体にダム管理者が呼びかけ、自治体より紹介のあった黒石市富岡警報所・田舎館村八反田警報所・藤崎町岡本警報所・西目屋村藤川警報所の近隣住民を対象に実施しました。各地区とも多くの方に参加いただき、避難後のアンケートや懇談会等で、このような訓練は定期的に必要だという声を多く頂きました。

このダム警報訓練は、来年以降も避難行動訓練の地域を移しながら実施していく予定です。今回の訓練実施地域以外の方におかれましても、各自治体が発行する防災マップや当事務所がホームページで公開している1000年に1度を想定した「浸水想定図」を洪水期前のこの機会にご確認いただき、皆様の防災意識の向上のほか、自治体からの防災情報により一層関心を持っていただくようお願いいたします。

※「緊急放流」とは、計画以上の洪水によりダム湖に貯められなくなり、ダム湖に流れ込む水をそのままダムを通過させ下流に流すことです。ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流すことはありません。

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

ゲート点検を実施しました



津軽ダムのコンジットゲート点検

津軽ダムで令和5年6月5日（月）から6月16日（金）までの期間に、ダムのゲート点検を実施しました。この点検は年に1度行われる重要な点検で、年点検と呼ばれています。

作業としては、ダムに設置しているゲートの正常な動作確認を行います。コンジットゲートについては、通常水が入っているため見る事ができない放流管内部の溶接部などに、ひび割れや錆等が見られないかを調べます。

作業はゲートの全開全閉動作、清掃、内部点検のほか、開閉時のデータ測定・記録や油圧オイルの分析まで行います。また、併せて取水ゲートの開放歯車油塗替も実施しました。

このように多角的視点での設備管理により非常時の操作に万全を期しております。今後も適正なダム管理に努めて参ります。

（浅瀬石川ダムのゲート点検は6月28日（水）に終了。）

浅瀬石川クリーン運動に参加しました



令和5年6月11日（日）午前5時から、浅瀬石川河川敷において、第32回浅瀬石川クリーン運動（浅瀬石川クリーンの会主催）が実施され、約900人が集まりました。

この運動は、美しく豊かな国土を未来へ繋げるという主旨のもと、河川環境を整備し、水辺に潤いと安らぎある豊かな環境を作り出すことを目的とされています。

岩木川統管管理事務所からは、浅瀬石川ダム管理支所の熊谷支所長をはじめ、工事受注者の方々が参加しました。

過去に一度も雨に当たったことがないとのことで、今年度も晴天に恵まれ、清掃作業に汗を流しました。



清掃作業の様子

～令和5年度ダム見学実施状況～

令和5年4月1日から6月15日までのダム見学団体数と人数をお知らせします

☆浅瀬石川ダム☆

☆津軽ダム☆



11団体／233名



9団体／178名

知ってる? 津軽ダム周辺の こーんな所

しらかみがふるさとばし 白神が故郷橋パーク

アルミとアスファルトの吊り橋!?この橋から名前がついた公園。津軽ダムを下流面から見る事が出来るんだ!ライトアップのビューポイントでもあるよ。大迫力を感じよう!(冬期間閉鎖)



つがる 津軽ダムパーク




ここは当然知ってるよね?津軽ダム見学の最初の場所!ここが、ダム天端に繋がっているよ。駐車場、2つの東屋や寒沢展望台もあるよ!ダムカードフォトフレームで写真を撮ってね☆

つがるしらかみこ 津軽白神湖パーク(艇庫)

ここには秘密がたっくさん!艇庫という建物が一番最初に見えてくるよ。この天井のライトは3つの星座の形をしているよ☆見つけてみてね!
秋には、お猿さんの群れが来ていたりするんだけど、とっても凶暴だから見つけても触ろうとしたりエサをあげたりしないでね...



艇庫の脇には、石碑が並んでいてパワースポットみたいになってるよ。この石碑は、津軽ダムを作っているときにダム湖に沈んでしまわないように移設してここへきたんだ。



みやまこ 美山湖パーク

津軽のナイアガラ!2号水質保全施設を間近で見ることが出来るよ。東屋もあるから、ゆったりと水の流れる音に身を預けてみよう。四季折々、刻々と変わる山並みもまた癒やしポイントだよ。



忘れちゃいけない!水陸両用バス『津軽白神号』の入水ポイントもここなんだ。迫力の入水シーンを見ることが出来るよ。

令和5年度 森と湖に親しむ旬間

浅瀬石川ダム

7月30日(日)
浅瀬石川ダム



ダム湖ふれあいデー

カヌーでの「虹の湖湖面巡視体験」や様々なステージイベント等を実施予定です！

開催時間、受付時間等の詳細は、岩木川ダム統管理事務所ホームページや公式Twitterで随時情報公開します。



津軽ダム



7月22日(土)23日(日)
にしめやランド 2023

津軽ダムサマーフェスタ

西目屋村大型イベントとの併催！津軽ダム会場では、津軽ダム堤体内部見学・模型実験・紙飛行機飛ばし等実施予定です。

開催時間、受付時間等の詳細は、岩木川ダム統管理事務所ホームページや公式Twitter、西目屋村HPで随時情報公開します。

今月の昔っこ(昔話)

岩木川ダム統管理事務所のホームページでは、毎月1話 津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第16作目になる6月のお話は『地名の話』です。
弘前の観桜会に行った仲よし4人組の婆様が、嫁ぎ先の猿賀、久井名館、五所川原、油川の由来を語る。朝から夕方まで、喋って飲んで、食べて笑って、元気になる女子会のお話。



編集後記

休日にバイクツーリングの人達をよく見かけるようになりました。私もバイクに乗るので、風を感じて気持ちよさそうですねと言われる。私の場合、ロングツーリングではジャンパーを着てブーツ・グローブ・ヘルメットを装着するので、風はあまり感じません。どちらかと言えば光や温度、匂いを感じます。道路沿いのリンゴ畑を通過すると、畑の匂い。また、寒い時期に走ると、どこかに暖かい場所が存在しています。そこに突入すると、異空間の層にバイクごと包まれるような不思議な熱感とか、ヘルメットのシールドから見る朝日の輝き等が印象的です。二輪にも四輪にも、それぞれの良さがありますが、体験した事がない人達にも魅力を伝える技術が欲しいものです。これは広報にも必要で、ダムだよりも努力して分かりやすくお伝えしたいと思っています。(工藤)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035

FAX 0172-85-3061



(ホームページ) (Twitter)

岩木川ダム統管理事務所
ホームページアドレス
<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式Twitter @mlit_iwakito